

2018年12月18日  
京成電鉄株式会社

さらなる輸送の安全確保のために  
「異常時総合訓練」を実施しました

台風による土砂崩れの影響による列車脱線を想定

12月18日(火) 9:00～ 宗吾車両基地で実施

京成電鉄(本社:千葉県市川市 社長:小林 敏也)では、12月18日(火)、宗吾車両基地において「異常時総合訓練」を実施しました。

これは、12月10日(月)から始まった「年末年始輸送安全総点検」の一環として実施したもので、ご旅行や初詣等で多くのお客様が当社線をご利用になる年末年始に合わせ、社員一人ひとりの安全意識の高揚とともに、重大事故発生時における対応力・技術力の向上を図りました。

今回の訓練では、大型台風により軌道に土砂が流入し隧道付近で列車が脱線、車内のお客様が負傷することを想定しました。併せて、当社にて発生した塩害による送電障害を教訓とし、脱線とは異なる箇所と同時に電力設備に被害を受けたことも想定しました。

この想定の下、対策本部の設置や関係各方面への連絡通報、列車内に閉じ込められたお客様(視覚障害のあるお客様、車椅子ご利用のお客様、訪日外国人のお客様含む)の避難誘導や負傷者の救護、現場の復旧作業などを当社と協力会社、佐倉警察署、酒々井消防署など合計約150名が参加して実施しました。

なお、昨年に引き続き鉄道本部以外の社員も参加し避難誘導の補助等を行いました。

今後もお客様に安心してご利用いただけるよう輸送の安全確保に努めてまいります。

本件の概要は、次頁の通りです。



脱線した車両を線路に復旧する訓練の様子



お客様の避難誘導の訓練の様子

## 異常時総合訓練の実施について

1. 日 時 2018年12月18日(火) 9:00～12:30
2. 場 所 宗吾車両基地  
【所在地】印旛郡酒々井町下岩橋字桐ノ木582-1  
【アクセス】京成本線 宗吾参道駅から徒歩約10分
3. 参加者 京成電鉄社員、協力会社社員(京成建設、京成電設工業)  
佐倉警察署、酒々井消防署 合計約150名
4. 訓練概要 (1)事故想定内容
  - ・大型台風通過により土砂崩れが発生し、軌道内に土砂が流入
  - ・宗吾参道～公津の杜を走行中の列車が土砂に乗り上げ脱線し、京成佐倉～空港第2ビル間、京成成田～東成田間で運転見合わせ。
  - ・ご乗車のお客様のうち、7名が重軽傷。
  - ・視覚障害のあるお客様、車椅子利用のお客様がそれぞれ1名ご乗車。
  - ・訪日外国人のお客様が5名ご乗車。
  - ・脱線とは異なる箇所において、同時に電力設備の被害が発生。(2)訓練内容
  - ①災害対策本部・現地対策本部の設置
  - ②列車防護、連絡通報
  - ③負傷者救出、旅客の誘導案内
  - ④緊急出動、復旧作業

以上